

登録コード	AIY13100	開講年度	2026			
授業科目	新入生ゼミナール				担当教員	富岡 郁夫
英文授業名	Seminar for Freshmen					河原 岳志・中村 浩蔵・筒井 歩・野村 亘・細見 昭
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生
講義室	共通教育 5 1 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2026アカリ，2025アカリ					
	【2025年度以降カリキュラム対象】1. 【教養・基礎学力】 豊かな教養と農学分野における基礎学力が身についている。				⇔	大学で学ぶための基本的なスキルを修得している。高年次に学ぶ専門分野に関連する知見を収集することができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、健康長寿、キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	生命・食品科学コースに入学した皆さんに，大学生活の有意義な過ごし方，信州大学の情報システムの利用のしかた，図書館等の学内施設の活用法について，オリエンテーションを行います。また，講義や実習でたびたび提出を求められるレポート課題。その書き方も指導します。さらに，生命・食品科学コースの教員がそれぞれの研究を紹介します。そこで提供される特定の話題について意見交換や討論を行いながら，まずは自分自身の意見を持ち，それを論理的に展開する力を養います。毎回，授業内容に関係するレポート課題が提示されるので，受講生自身の考えをレポート（A4用紙1枚程度）にまとめて，次回授業時に提出します。eALPSで提出することもあります。					
(5)授業計画	第1回（4月14日）ガイダンス [担当：富岡 郁夫] 第2回（4月21日）国際農学教育センターによるガイダンス [担当：国際農学教育センター員] → 共通教育第 2 講義棟 61 番講義室 第3回（4月28日）図書館ガイダンス [担当：図書館職員] → 共通教育第 2 講義棟 65 番講義室 こころの健康・大学生活のリスク対策および情報セキュリティガイダンス（eALPS） [担当：学生相談センター・情報基盤センター] 第4回（5月12日）アカデミックスキルのガイダンス・情報セキュリティガイダンス [担当：農学部ラーニングセンター] → 共通教育第 2 講義棟 65 番講義室 第5回（5月19日）レポートの書き方1：生命・食品科学分野の文献の検索方法 [担当：河原 岳志] 第6回（5月26日）レポートの書き方2：レポートの作成方法 [担当：中村 浩蔵] 第7回（6月 2日）研究紹介①・有機化学反応からみる生命・食品科学 [担当：筒井 歩] 第8回（6月 9日）研究紹介②・酵母の環境応答と発酵統御 [担当：野村 亘] 第9回（6月16日）伊那キャンパス学生との交流会（生活編，学び編） [担当：農学部ラーニングセンター] 第10回（6月23日）コミュニケーションスキルアップ・ワーク → 共通教育第 2 講義棟 61 番講義室 [担当：農学部ラーニングセンター 下平カウンセラー] 第11回（6月30日）伊那キャンパスの学び，個人面談 [担当：富岡 郁夫 他] 第12回（7月 7日）研究紹介③・真核生物と原核生物 [担当：細見 昭] 第13回（7月14日）研究紹介④・バイオインフォマティクス [担当：梅澤 公二] 第14回（7月21日）研究紹介⑤・生物活性天然物の単離・構造決定，全合成 [担当：河村 篤] 第15回（7月28日）授業アンケート，期末レポート [担当：富岡 郁夫] 第16回 キャンパスツアー [担当：富岡 郁夫]					
(6)自主学習の指針	講義中に配布する資料の該当箇所を予習・復習してください。					
(7)成績評価の基準	レポートの内容は，以下の4項目に対し評価します。 （i）課題への理解が適切であること。（ii）その課題の背景が説明できること。（iii）課題に関しどのような未知の問題があるか説明でき，どのような解決策が考えられるか説明できること。（iv）その解決策が独創的であること。 評定については次の評価基準を基本としています。 ①「その水準にある」：（i）ができる。 ②「やや上にある」：（i）を含む2つができる。 ③「かなり上にある」：（i）を含む3つができる。 ④「卓越している」：4項目全てができる。 ①は可（60～69点），②は良（70～79点），③は優（80～89点），④は秀（90点以上）。 ①の水準に届かない場合は不可（59点以下）となります。					
(8)事前事後学習の内容	この授業は90時間の学修を必要とする内容です。授業以外のレポートや事前事後学習などに4.5時間／週，合計67.5時間以上の学習が必要です。 事前学習：担当教員のホームページなどで，各教員の研究および研究分野について調べてください。 事後学習：講義で紹介された研究で興味を持った内容について調べ，ノートに自分の言葉で書き出し，まとめてください。					
(9)テストやレポートの予定	授業に関連した課題レポートが課されます。					

(10)成績評価の方法	研究紹介①～⑤のレポート内容で総合的に評価します。
(11)質問、相談への対応および連絡先	授業中および授業後に受け付けます。 その他、随時メールでの質問、相談を受け付けます。 クラス担任（富岡）のメールアドレス：tomioka@shinshu-u.ac.jp 他教員のメールアドレス：学生の手引きで確認してください。 高年次学生からの学修支援もあります。
(12)履修上の注意	・必修科目です。毎回必ず出席すること。授業内容の理解を深めるために積極的に質問し、自主的に関連書物を読み学習に取り組んでください。 ・TOEIC-IPテストの受験が必修化されています。必ず受験してください。 TOEIC-IPテスト（オンライン） 日程：6月中下旬（指定された期間に受験） 日程等の詳細は別途掲示にてお知らせします。
【教科書】	指定しません。 必要に応じて資料を配布します。
【参考書】	指定しません。 適宜、授業で紹介します。